

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	冬季観光推進事業費					
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 係		作成者	赤坂知衡
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画のページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし				
	主要施策	観光資源の掘り起こし				29
予 算 費 目	一般 会計		7 款 商工費	1 項 商工費	3 目	観光費
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度			新規／継続の区分		
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	観光客のために角館町内の歴史や一昔前の冬の暮らしぶりを聞いていただく。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	観光客が減少する冬季の誘客推進を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	冬がたりをかくのだて歴史案内人組合に委託する。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	冬がたり開催日数	日	60	60	
	成果指標	岩橋家来場者	人	8,645	9,197	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			1,079	1,107	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債				
		そ の 他				
		一 般 財 源		1,079	1,107	
	人 件 費 (B)		—	785	807	
		職 員 数	—	0.1	0.1	
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	1,864	1,914	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	31,067	31,900	
			—			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	58	61	

【事務事業の今までの成果】

平成12年度から実施しているが、冬がたりの利用者はあまり伸びてはいないものの、最近は関西からのお客さんも増えてきているなど、かなり知られるようになってきている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	更にPRを続け、冬季観光推進の原動力となり得るよう期待されている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	観光客が少ない冬季における観光客誘致に貢献している。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	冬季の誘客促進を目的とした観光資源の掘り起こしを進めながら、引き続き事業の推進が必要と考える。

一次評価診断図

